

岩倉市タウンミーティング（石仏町区）会議録

日時 令和7年11月2日（日）

午後6時～午後7時

場所 石仏会館

出席者 石仏町区 13名

市長、建設部長、都市整備課長、整備グループ長、計画営繕グループ長、商工農政課長、農政グループ長、秘書人事課長、秘書広報グループ長

1 あいさつ

- ・石仏町区長 中山東岳氏
- ・久保田市長

2 懇談

テーマ ヤード対策、スマートインターについて

(1) ヤード対策について

商工農政課長から「(仮) 岩倉市資材置場等の土地利用に関する指導要綱（ガイドライン）」案の説明後に懇談

【参加者】 ガイドラインの目的の中に「不適切な土地利用行為」とあるが、これまでの高いフェンスなどは、不適切ではなかったのか。

【商工農政課長】 フェンス自体は認められているものになる。不適切ということではない。ただ、フェンスが高いと中で何をやっているのかとなるので、今後はフェンスの高さを抑えてもらうとか、中が見えるようにしてもらいたいと考えている。

【参加者】 交差点のところにヤードがあるため見通しが悪く危険である。それでも不適切ではないのか。

【農政グループ長】 今回の要綱について、不適切というのは資材置場として中身が不適切ということで、交通上の危険を確認するものではありません。敷地内の話とその外の話を分けて考えてもらいたい。

【参加者】 今後はそれも検討に入るということでいいか。

【商工農政課長】 フェンスの高さについて、業者としては高さが無いと侵入される恐れがあるって、一定の高さが必要という考え方をしている。農業委員会としては、できる限り低くなるように話をしていく。

【参加者】 8m道路のヤードの壁がある箇所では、車の先が3分の1ぐらい出ないと確認ができない。昨年の区長には、その場所にミラーを付けるように頼んだが、岩倉市と江南警察の話がうまくかみ合わず、そのままになっていると聞いたがどうか。

【建設部長】 岩倉市では、カーブミラーを極力設置していかない方針としている。市街化調整区域の場所で仮設的にヤードが立っているところにカーブミラーを設置した場合、ヤードが撤収されてしまうと不要なカーブミラーとなってしまう。交通量も多くなくて、ゆっくり出れば対応できるような箇所については、設置を見送させていただいている。

【参加者】 家の隣に板金工場が建設されると聞いた。それは今回の要綱に該当しないか。

【商工農政課長】 工場建設は都市計画法により規制があり、県で許可しているため、今回の要綱には当てはまらない。

【都市整備課長】 その場所は都市計画法に基づく申請が出ている。申請の許可は県がするため、県が手続きをしている。

【参加者】 せっかく石仏公園ができてもヤードが建つと治安が悪くなる。地主も頑張って変なものができないようにしないといけない。石仏公園ができる場所の西側の畠は耕作できずに草が生えたら、辛うじてトラクターで綺麗にしている状態になっている。

【市長】 ヤードに関しては、相続などで引き継いだ際に管理しきれなくなり、売らざるを得ないことがある。法律上は、通つていってしまうので、行政がダメと言うことができない。それでも何かできることとして、今回の要綱を作る。それは、市として高い塀があって景観を損ねるようなヤードができることに反対しているという意思表示になる。

【参加者】 市街化調整区域でも200平米以上の場合は宅地申請をすると聞いたができるのか。

【市長】 市街化調整区域でも規制緩和ができる地域があるが、下水道が整備されていることなどの条件がある。

【参加者】 下水道はどこまで整備されているのか。

【市長】 鈴井町も市街化調整区域の場所は下水道が整備されていない。市街化区域には、都市計画税がかかっており、それを下水道の整備にも使っている。

【参加者】 先ほど不適切な土地利用というのは、ヤードの中身のことと聞いた。それは一度申請を出して通ったものを後から見ることができるのか。

【商工農政課長】 完了届が出た際に農業委員会が確認に行くが、それ以降は中を見る権限が無いので、中を見る場合は協力のお願いをして見ることになる。

【参加者】 町内的人が中を見て欲しいとなった場合に市が動くのか。

【商工農政課長】 そういう話があった場合は行政が協力のお願いをするが強制力があるわけではない。

【参加者】 それはこれまで同じだったが、これからはもう少し厳しくなるのか。

【農政グループ長】 今回のガイドラインでは、農業委員会としての農地転用の申請があった際にチェックするハードルを上げた。

【参加者】 これから農地転用を考えている人にとっては、厳しくなり、今までの人はそのままということか。

【商工農政課長】 今あるところについての規制は考えていない。

【参加者】 カーブミラーについて、仮設でという話があったが何年規模を考えているのか。その間にも危ないと言っているのにどういう考えなのか。

【建設部長】 カーブミラーを設置して欲しいという話はここだけでなく色々な地区から出てくる。それについて、その場所に本当にカーブミラーが必要か現地を見て確認をしている。交通量が多いとか、通学路である等で必要であるとなれば設置をしている。市街化調整区域については仮設的な位置付けであり、ヤードの

フェンスは取られてしまうかもしれない。市民から危険であるとお話ししがあれば、現地を確認するが、お話しいただいた石仏のヤードが建っている周辺については必要が無いと考えている。

【参加者】 一度、一旦停止の箇所を南から車で通って欲しい。すごく危ないので、そこだけでもまず設置してもらいたい。事故が起きてからでは遅い。

【建設部長】 後ろ向きに考えているわけではない。他からの要望もある中で優先順位を考えていく。

【参加者】 どこのカーブミラー設置を優先して考えているのか確認ができるのか。

【建設部長】 今、市としてはカーブミラーを新たに設置している状況にはない。これまで設置してきた場所で腐食したものなどに対応している。設置する場所については区からの要望を受けて、本当に危険かどうか確認している。

【参加者】 カーブミラーは大人しか使わないので、こどもが安全に通れるような対策を考えて欲しい。

【区長】 この指導要綱は、今後も増えるだろうという対策。石仏の住民からすると今あるだけで手一杯で、ヤードが建ってしまうと隣に農家の息子の家も建てられず、ヤードが一つ建つと四方八方の使い方が制限されてしまう。本音を言うとヤード禁止条例などを出してもらえるといいが、農地保全ゾーンとしてきた場所なので、農地として残してもらえるのが一番ありがたい。石仏公園ができる沿道サービスができるようになって土地の付加価値が高まれば、けん制できるのではないかという意見がある。ヤードの建っている場所のカーブミラーについては、検討してもらえるように持ち帰っていただく。

(2) スマートインターについて

都市整備課長から状況等の説明後に懇談

【参加者】 最初は江南、一宮、岩倉の3市で話が進んでいたが、その中で江南市が降りたと聞いている。概算の予算はあるのか。今、高速道路の側道を走っているのは、トラックが7割ほど。西へ行くのは一宮インターから高速道路を使う車、東へ行くのは大口や江南へ向かう。スマートインターを使うのは、川井町の工業団地の車ぐらいではないか。

【市 長】 概算の予算はある。江南市が参加していた時は八剣町の豊田岩倉線の辺りでという動きがあった。江南市は早々に降りた。事業費については、国が推奨する事業であるため、国の補助金があり、一宮市との共同で実施するため、岩倉市が全て負担するわけではない。NEXCO中日本の負担もある。また、起債も充てられる。そのため、何十億もかかる事業ではない。岩倉市にとって、ただインターが近くなるだけでなく、災害対応や救急医療などメリットがある。一宮市側は大規模な区画整理を予定している。スマートインターチェンジができることで相乗効果があり、人やモノの流れが変わり、これから岩倉市の発展に繋がる。

江南市や北名古屋市も近いので恩恵は受けるが、岩倉市の将来を考えるとスマートインターチェンジが必要となる。

【参加者】 川井の工業団地はもっと広げるのか。

【市 長】 民間からの提案もあるため、そうした開発になっていくと考えている。

【参加者】 周辺道路における安全性が向上すると説明があったが、交通量が増えてしまうのではないか。

【都市整備課長】 交通量推計を実施しており、一宮インターと小牧インターを利用して車がスマートインターチェンジを使うことで、車が減る場合もあれば、スマートインターチェンジができることによって新しく交通量が増える所もある。交通量も調査しながら安全性の確認をしていきたい。安全性が向上するということについては、どちらかと言うと一宮市側に丹陽小学校や丹陽中学校があり、通学路となっている箇所を大型車が多く走っている状況となっているため、それが減ることで安全性の向上が期待される。

【参加者】 川井の工業団地は全て入っているのか。

【市 長】 川井の工業団地は、4社で全て入っている。6区画整備して、2区画分利用したい会社が2社あったため、製造業2社と物流業2社が入った。近くの萩原多気線が整備できると幹線道路に車を通して、生活道路になるべく入れないようにする効果がある。交通安全対策はしっかりとやっていきたい。

【参加者】 川井町の工業地帯で石仏にあるヤードを建ててもらえないか。業者の車ばかりが通っているのなら、そちらにあった方がいい。

【市 長】 工作物があるところを開発する訳にはいかない。周辺の北島町にも住宅ができている状況になってきている。

【区 長】 川井町の方で店ができているのは、沿道サービスとして道路の道幅が12mあるから建ててもいい。石仏公園のところに店ができるのは、道路が繋がっていないので、沿道サービスができない。石仏公園をせっかく整備するなら道路を伸ばしてもらいたい。

【参加者】 スマートインターチェンジは、計画ではいつできるのか。石仏公園より先なのか。

【都市整備課長】 石仏公園はすでに工事を始めているので、石仏公園の方が先になるが、国の補助金の内示率がかなり低かったため、供用開始が遅れている状況になっている。スマートインターチェンジは、まだ事業化しておらず、これから用地買収や一宮市側の埋蔵文化財発掘調査も実施する必要があるため、いつ整備するということをお伝えできない。

(3) その他

【区 長】 石仏駅に一宮市のコミュニティバスを乗り入れるという話があったはずだが、進捗状況はどうか。

【市 長】 駅の東側にロータリーを作ったが、バスが乗り入れするには、道幅が狭い状況である。

【区 長】 駅西にゲンキーができるので、少し広くなりコミュニティバスだったら回れるだけのスペースができる。また、すぐ先まで一宮市のバス停がある状況になっている。

【市 長】 公共交通は一つの市で考えるのではなくて、他の市と一緒にあり方を考えることも必要であるため、一宮市と話し合いをしている。まだ具体的にどうするという話にはなっていないが、一宮市の人にとっても駅まで来る需要はある。駅西側については、どのようにバスを乗り入れるのかという課題がある。

【区 長】 一宮市にある県営グラウンドへは歩いていく人が多い。駅東のロータリーには桜の名所へ案内する案内図があるが、駅西には案内図が無いため、高校生や

中学生が県営グラウンドへ行くための案内図があるといい。

【参加者】 岩倉駅より石仏駅の方が駐輪場については優れている。西へ降りても東へ降りても、すぐに駐輪場がある。一宮工科高校や大成高校の生徒も石仏駅から自転車で通学していく。駅の近くも農地が多いが、スギ薬局とゲンキーができるので、街らしくなっていくのではないか。もっと人が増えて高速道路下に布袋駅の高架下にできたような店ができるといい。

【区長】 駐輪場の話でいくと名古屋などでは、24時間とか48時間とかの時間制限があるが、石仏駅はいつまででも自由に置いておくことができる。高校の夏休みの間も置いておけるが、一般の利用者が使えないということに繋がっている。まだ、高速道路の下に拡張する余地があるのではないか。

【市長】 駅東にロータリーを作ったので、駐輪場も高速道路の下に拡張できればいいが、協議が難しい状況である。

【参加者】 石仏駅が便利になれば乗降客が増える。

【市長】 人が集まってくれば、働く場所や学校ができて地域が栄えていく。

3 おわりの挨拶 ・建設部長

午後7時 終了